

敦賀火力発電所2号機の運転再開について

平成23年12月7日
北陸電力株式会社

当社、敦賀火力発電所2号機(定格出力：70万kW)は、石炭バーナー損傷のため、停止して点検しておりましたが、原因を調査し、損傷したバーナーの取替が完了したことから、本日(12月7日)、運転を再開いたしました。

敦賀火力発電所2号機(定格出力：70万kW)は、通常運転中に、石炭バーナー先端に損傷が認められたことから、12月1日に発電を停止し、点検を実施しておりました。
(12月1日お知らせ済み)

点検の結果、当該バーナー本体の側面に新たに亀裂を確認しました。バーナー先端が損傷した原因は、この亀裂から微粉炭が漏洩し、バーナー先端付近で燃焼したことによるものです。

損傷したバーナーを取り替えるとともに、他バーナーの点検を行い、異常がないことを確認したことから、本日、9時23分に運転を再開いたしました。

当社は、今後も発電所の安全運転に万全を期してまいります。

以上

別紙：石炭バーナー損傷の概要

微粉炭・・・乾燥した石炭を粉砕して微粉末にしたもの

【石炭バーナー損傷の概要】

